伝統と絆が紡ぐ「80」の輝き

― 伊勢志摩国立公園指定 80 周年記念式典に歓迎ボードを制作・展示しました―

11 月 20 日に開催された「伊勢志摩国立公園指定 80 周年記念式典」の会場にて、来場者をお迎えする記念アート（歓迎ボード）を制作・展示いたしました。
輝きを放つ 80 枚のアワビの貝殻で描かれた「80」の文字。これは、指定 80 周年を祝し、鳥羽市国崎町内会から贈られた貝殻を用いて制作されたものです。 古来より伊勢神宮に「熨斗（のし）アワビ」を奉納してきた国崎町。伊勢志摩の海女たちは、捕獲サイズや漁期を厳しく制限しながら、大切な海の恵みと伝統を未来へとつないできました。
地域の暮らしと自然の共生を物語るこの貝殻に、鳥羽市の福祉関係者の皆様（※）の丁寧な手仕事が加わり、ひとつの作品として生まれ変わりました。
式典当日は、このボードの前に大変多くの来場者が足を止め、笑顔で記念撮影をされる姿が見られました。伝統文化と福祉の連携が生んだ心温まる地域の絆が、節目の式典に華を添える形となりました。ご協力いただいた皆様、そして会場でご覧いただいた皆様に心より感謝申し上げます。
※制作協力：鳥羽市地域自立支援協議会 障がい福祉事業所有志一同



